



2019年9月18日

各 位

会 社 名 株式会社ダイセキ
代表者名 代表取締役社長 柱 秀貴
(コード番号 9793 東証・名証第一部)
問合せ先 企画管理本部長 片瀬 秀樹
(電話番号 052-611-6322)

連結子会社の業績予想修正発表に関するお知らせ

本日、2019年9月18日15時に当社の連結子会社であります株式会社ダイセキ環境ソリューション（コード番号1712）におきまして、添付資料のとおり「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたしましたので、お知らせいたします。

なお、今回の修正による当社連結および単独決算に与える影響は軽微であり、当社業績予想に変更はございません。

以 上



2019年9月18日

各 位

会 社 名 株式会社ダイセキ環境ソリューション
 代表者名 代表取締役社長 二宮 利彦
 (コード番号1712 東証・名証第一部)
 問合せ先 企画管理本部長 珍道 直人
 (電話番号 052-819-5310)
 当社の親会社 株式会社 ダイセキ
 代表者名 代表取締役社長 柱 秀貴
 (コード番号9793 東証・名証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年9月18日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、2019年4月4日に発表いたしました2020年2月期(2019年3月1日から2020年2月29日まで)第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正

① 2020年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年3月1日~2019年8月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,049	372	383	219	13.04
今回発表予想 (B)	7,030	645	675	400	23.79
増 減 額 (B-A)	△19	273	292	181	
増 減 率 (%)	△0.2%	73.3%	76.2%	82.6%	
(参考) 前期実績 (2019年2月期第2四半期)	7,806	597	590	360	21.41

② 2020年2月期通期連結業績予想数値の修正(2019年3月1日~2020年2月29日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,712	900	910	520	30.95
今回発表予想 (B)	14,150	1,040	1,070	630	37.48
増 減 額 (B-A)	△562	140	160	110	
増 減 率 (%)	△3.8%	15.5%	17.5%	21.1%	
(参考) 前期実績 (2019年2月期通期)	14,193	898	904	564	33.55



③ 2020年2月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2019年3月1日～2019年8月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,159	219	153	9.10
今回発表予想 (B)	6,070	470	335	19.93
増 減 額 (B-A)	△89	251	182	
増 減 率 (%)	△1.4%	114.6%	118.9%	
(参考) 前期実績 (2019年2月期第2四半期)	7,046	416	306	18.21

④ 2020年2月期通期個別業績予想数値の修正（2019年3月1日～2020年2月29日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,884	563	392	23.36
今回発表予想 (B)	12,250	680	470	27.96
増 減 額 (B-A)	△634	117	78	
増 減 率 (%)	△4.9%	20.7%	19.8%	
(参考) 前期実績 (2019年2月期通期)	12,692	593	457	27.17

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、土壌汚染処理事業において、難処理物案件・工事処理一括案件等、付加価値の高い案件に注力するとともに、弥富リサイクルセンター・横浜恵比須リサイクルセンターの稼働率の向上と原価低減に努めました。弥富リサイクルセンターの稼働率は対前年比で15%増加し、年初に稼働した横浜恵比須リサイクルセンターは概ね計画値で推移しております。その結果、売上高については、ほぼ予定通りでしたが、利益率が想定より改善したため、当第2四半期連結累計期間における営業利益、経常利益および親会社に帰属する四半期純利益が、業績予想を上回る見通しとなりました。第3四半期以降につきましては、全体として堅調に推移するものの、一部案件について進行の遅れ等、不確定要因も含まれております。

以上の点を、総合的に勘案した結果、2019年4月4日に公表しました当第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を上回る見通しとなったため、修正するものであります。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上